

5 月 16 日から 6 月 1 日まで、館内では
美術部による「春の陣」がはじまりました。
美術部の作品展は年 2 回春と冬におこなわれていますが
今回も 1 年生から 6 年生までの作品が並んでいます。

普段、あまりメディアセンターを訪れることがない人も
ぜひこの機会に友達の作品を観にきてください！



■ 今月の新着図書から ■



『アジア 25 の国と地域』 分類 220
井田仁康／昭文社

日本もアジアの一角ですが、他の 25 カ国の国名や場所をご存知ですか？ラオスやブルネイはどこにあり、どんな国なのでしょう。この本ではそれぞれのアジアの国々の特色や首都を数ページずつでわかりやすく紹介しています。日本に近いアジアの国々を、ぜひこの一冊から知ろう！



『核兵器禁止条約ってなんだろう？』319
川崎哲／旬報社

2017 年に国連で採択された「核兵器禁止条約」。核兵器を作ること、持つことも、使うことも禁止したこの条約は、2021 年に 50 カ国が批准し正式に発効しました。世界が核兵器をなくすために動く一方で日本は・・・核問題の過去と現在をわかりやすく解説しています



『図解宇宙ビジネス』 分類 538
片山俊大／すばる舎

これまでサイエンス分野で研究されてきた宇宙。しかしこれからはビジネスの分野でも注目をあびそうです。すでに宇宙ビジネスの利害を調整する宇宙弁護士という仕事があるとは知りませんでした！皆さんの老後は、家族で宇宙旅行という時代になっているかもしれませんね！



『大谷翔平』 分類 783
小寺晴幸編集／インテルフィン

ついに今月、メジャー通算 100 号のホームランを達成した大谷翔平選手。この本では、漫画をまじえながらおおらかな家庭環境や今の今のベースともいえる高校時代の監督のコメント、さらにはメジャーでのチームメイトとのやりとりなど、素の部分を垣間見るように楽しい一冊です。



『ものだま探偵団』 分類 913
ほしおさなえ／徳間書店

人から大切に使われた物に話かけると魂がやどる「ものだま」。5 年生の七子は、引っ越してきた町で、話をする物たちにびっくり！でも、「ものだま」の声が聞こえるのは自分だけではないことがわかり、友達とともに「ものだま探偵団」を結成します。身の回りの物たちをいつくしみたくなるお話。



『図書室のはこぶね』 分類 913
名取佐和子／実業之日本社

前半は学校図書室を舞台にした青春物語かと思いましたが、後半になるにつれ、10 年前に貸し出された 1 冊の本をめぐり、在校卒業生とが繋がって、封印されていた過去のなぞがひもとけます！
本の中にでてくる図書室名物のオリジナル検索機「本ソムリエ」は、メディアセンターにも欲しくなりました。

ご存知ですか?館内のこのコーナー

●レポート・論文の書き方本●

窓辺の書棚のそばに、皆さんのレポートや課題に取り組む際に参考となるように関連書籍をとりまとめてコーナーにしています。

「課題ってどうやって書いたらいいのかな?」という人だけではなく、「探究ってどう取りかかったらいいのだろう?」「プレゼンテーションって?」という人にも参考となる本がずらりとならんでいます。

場所がよくわからない場合は司書に声をかけてくださいね!



● 5月の主な館内図書展示

「鳥の本大集合!」図書展

5月の第二土曜日は国連の「世界渡り鳥デー」です。この日にあわせ、館内では「鳥」に関する本を大集合しています。本物の鳥の巣も一緒に展示していますので、どの鳥の巣なのか調べてみてくださいね!

『ぼくの鳥の巣コレクション』鈴木まもる 岩崎書店

『日本の野鳥さえずり・地鳴き図鑑』植田睦之 メイツ出版

『道具を使うカラスの物語』パメル・S・カーター 緑書房

『ハシビロコウのすべて』今泉忠明 廣済堂

『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ』川上和人

この他多数展示中!



「今、世界の海は・・・

～海洋プラスチックごみから考える～」図書展

SDGsの目標14は「海の豊かさを守ろう」。

海洋汚染の原因には海に廃棄物が捨てられる他に、陸上で人間の活動が大きく関係しているといわれています。その一つにプラスチックゴミに関連した海の環境についての本を展示中です!



『海洋プラスチックごみ問題の真実』磯辺篤彦

『脱プラスチックへの挑戦!』堅達京子大和溪谷社

『海はゴミ箱じゃない!』眞 淳平 岩波書店

『プラスチック惑星・地球』藤原幸一 ポプラ社

『散乱ペットボトルのツケは誰が払うのか』栗岡理子 他多数

本棚 先月から館内に展示している「ウクライナとロシアを理解する本」コーナーですが、場所をうつして現在も展示を続けています。ここには以前ノーベル文学賞を受賞したスウェーデン作家の「トラナ・アレクシエーヴィチ」の『戦争は女の顔をしていない』の日本語版と漫画版もあります。残念ながら購入してから誰にも借りられませんでした。この度のロシアのウクライナ侵略にあわせ、こうした本も借りられるようになりました。ニュースをみて、ウクライナ情勢に関心を寄せている人たちがいることを感じています。『てぶくろ』

『おおきな木がぶ』など、国境を超えて世界中の子どもたちを楽しませている両国の絵本も並べています。ウクライナの子どもたちが、こうした絵本を穏やかな気持ちで手にとることができるようになる日はいつになるのでしょうか(渡邊)